

日本数学コンクールフォローアップセミナー

数理ウェーブ

日時:平成30年4月28日(土) 13:30開場
場所:名古屋大学 多元数理科学棟 509号室

【講演1】14:00～15:00-----

藤井大輔 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科 博士後期課程)
「 $3x+1$ 問題(コラッツ予想)について」

概要: 整数に対して「それが奇数ならその数を3倍して1を足す」「それが偶数ならその数を2で割る」という操作を繰り返し行くと、どのような正の整数から始めても必ず「1」にたどり着くことが観察されています。このことは $3x+1$ 問題(コラッツ予想)と呼ばれる未解決問題として知られています。今回は $3x+1$ 問題とその様々な一般化について、歴史的背景や、いままでに分かっていることについて説明いたします。最近の研究のトレンドについてもお話しできればと思います。

【講演2】15:10～16:10-----

伊師英之 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科 准教授)
「上一桁の数字の法則」

概要: 等比数列やフィボナッチ数列のように漸化式で定まる多くの数列について、下一桁の数字の規則性が観察されることが多いのですが、実は上一桁の数字にも「ベンフォードの法則」とよばれる統計的な規則が成り立つことが屡々あります。その内容は、たとえば1の現れる頻度が4, 5, 6, 7の現れる頻度の合計に等しいといったもので、数列に限らず様々なデータに対して成り立つ普遍的な法則です。この講演では、ベンフォードの法則が成り立つしくみを説明し、データ分析における応用を紹介します。

参加無料・事前登録不要

—お問い合わせ—
名古屋大学

研究協力部社会連携課
TEL 052-747-6484